

平成12年7月度幹事会議事録

平成12年7月29日（土）

開催年月日：平成12年7月29日（土）（14:00～17:00）

場所：事務所会議室

出席幹事：高井、飯田、中村、紙野、妹尾、宮村、八木、宇田、赤根（定足数8名）

中本監査役

議 事

1. 各部門の状況報告

- 1) 大阪産業廃棄物協会事業部門：宮村幹事から状況報告を受けた。なにわ産廃塾の開催は難航している、10月以降の開催を予定。9月6日開催のEMS指導者講習会で大阪産廃協会用マニュアルが使用される、印刷費等を日環協に連絡し相談する。
- 2) 環境マネジメント普及部門：紙野幹事から報告を受けた。大阪府、大阪市、商工会議所を訪問して、普及部門の活動内容を紹介した、感触としては理解を得たが具体的な活動には繋がらない、東大阪市など周辺都市への紹介活動を実施する。宇田幹事より東京都が取り組む「エコアクション」について説明を受けた。これは東京ISOとも言うべきもので、大阪などの動きも早く探る。
- 3) 広報・会報部門：中村幹事から堺地区での活動状況の報告を受けた。堺市と共同で環境活動指導者養成講座を開催する。会場、その他の準備は堺市が担当し、OECAから講師を派遣する。当面中村、紙野、前、荒崎の4名が講師を担当する。北部の小林さんが、動きの鈍さに業を煮やし、独自に動くといわれて動き始められた。もっと積極的に活動することが必要。赤根、妹尾幹事から名簿作成完了報告（幹事に配布する）、ニュースレター4号の発行について、8月末頃の予定との報告を受けた。（キャンペーン記事を加える）
- 4) 環境講座部門：飯田幹事から報告を受けた。7月は二回開催し、一般市民の聴講参加があり、PRも効果も認められる。特に22日の会合にはレディースサイエンスの加藤さんが出席され、来年1月に予定しているワンワールドフェスティバルに、水の問題を取り上げるため協力要請を受けた。環境講座部門で今後対応する。（オイスカも関係する）
- 5) NPO部門：高井幹事から申請の書類提出は8月4日の予定で、当面10名でスタートする。

2. 予算額決定報告

飯田幹事より、平成12年度実行予算決定について報告があり承認された。実行予算については各部門リーダーが使用状況を把握して実行することにした。収入に不確実な要素があるため状況を確認しながら修正していく。

パソコンの配布要求は抽選漏れになり、事務局の実行予算の範囲で、新規にパソコンを約7万円で導入することで承認を得た、8月7日に導入予定、機種はゲイトウェイ製品で詳細の詰めは宇田幹事に一任した。

3. その他の報告事項

- 1) 8月中、事務所は休業とする。用事の会員はお行きください。
- 2) 通産省がNPOを対象に省エネ普及事業補助金申請を募集している、環境マネジメント普及グループで検討することになった。
- 3) 8月29、30日に実施される環境カウンセラー講習会大阪会場にOECAのブース開設を申請し許可になった。日程も迫っていることで高井会長を中心にして、グリーン購入フェアでの経験を活用して対応する。別途日時を決めて打ち合わせを行う。エコベースについて、現在5名の参加希望がある。大阪市が積極的に進めているので、OECAとしてもチームを編成して交流試合を実施したい、幹事からの参加要請があった。

以上 記録 赤根晴雄